るかえって横

して、物性状大機の多つい親、 本のと関すさら、かの対性をえ たのと関すさら、かの対性をえ たのと関すさら、かの対性をえ に他の人種してもれた。この 人達は大学の医院を持して大 きる数ささた人たでですよ」この との数ささた人たでですよ」この との数ささた人たでですよ」この との数ささた人ただですよ」この との数ささた人ただでする。

『廃学共同』の思想は「数字

ている状態において、新たな労働 あている状態において、新たな労働 あている状態において、新たな労働

との日は千葉大に一一〇と、リ

「危険物」として落難し、社会、 の実質は、精神障害者を社会の の実質は、精神障害者を社会の

ととが、昭和三十六年、「鳥山地 の延長線上に存在しているといる

たちむか。ってきたのだろう 水保での、ある医者の体験級を

「九大の人は信用できません」

一人として僕にどっしりとつきさ の重い圧迫の中で免罪符は現実を をしたのであろうか。

さ してゆく必要があるからである。 しのような中で"学会の優先"はの その検索づけのために必要なこと

野球部優勝

没―中間施設による労働力管理」

り の底に沈んでいた星者を退院させ 年間も、生活療法によって、病院

できぬ現状から、我々はこの闘争 門十一日付「告示」を今だに崩壊 変求に蜂起したが、大学からの九 変求に蜂起したが、大学からの九

部めざるを得ないであろう。

を阻止せよ 出席制度復活

外れることを無意識的に提起し、

それを抵軸としたところに、すで

き してゆくな要があるからである。 してゆくな要があるからである。 というとすることであり 世班 としたとしているようなとであり というとすることであり

横 いを受けていないのです。 の とって社会と家庭の平和と安全を一本の としていないのです。

動力になっているが、同時に古い

基本姿

なお一言付加えた

き間を作ってしまった。写真は必音楽に集中していた心に空虚なす

育 制収容所にとじこめられ、廃人と へ下されれば、何年も病能という強 解

数さの対決を必然的に導き出すと が、共に、病院管理機構において、治 強、収率もまた、管理、如圧されてい と るのだということを暴奪してゆく し ことになった。

としているのであろうか。

成とはどのような内容を含 とができるのだろう。またその根

そういえば、

物されてきたように、医局による

管理は極格と化しつつある。

が 「 す」 そろ患者さんだちは語った。 「 戚も何も ない人の 方がい いんで 」 成のある人は信用できません。 権

他 でからも必要となっている。すなわ でからも必要となっている。すなわ でからも必要となっている。すなわ でからも必要となっている。すなわ でからも必要となっている。すなわ でからも必要となっている。すなわ

肉となったようだ。

出席深八回鳥以上本必要とする」

こ の許されないものであり実力闘争・と の命令であり教授会の役割であった。 のからな国家―教との対立は妥協

神病

患者の解放を

烏山病院

特 集 題

年代・経済の には他ののでは、 はいのでは、 はいのでは かなる権利によって学園祭に優先一体的に割込んできた。学会、とはい一体関係の教等使用に対し、一方一体

認められていない。悪んだ社会に られる。すなわち医療は資本主義

「漁浦が出た。それは第三病院の故」三病院の金もつけは本体研修生に ・ 「加浦が出た。それは第三病院の故」三病院の金もつけは本体研修生に ・ 化されてきた。4月、数学院なら 「陸は「教育院団」と称して「本検 ・ 化されてきた。4月、数学院なら 「陸は「教育院団」と称して「本検 ・ 「大きれている」をは、「大きれている」をは、「大きれている」といる。 ・ 「大きれている」といる。

しとである

➡ 心電計はこのマークで!

昭和45年(1970年) 東京都湖区西新橋

筆 3 2 6 号 出席制度·教室使

理支配をはねのけ は

今年、中川県では原家・農田芸士(会議等、徳田、王山川・石が時代市場によって、万倍等にフリーの開発は「単名権」とはおったが、京田・日本の開発は「単名権」とはおったが、京田・日本の一名の一部とは「中省・日本の一名」とは、「中国・日本の一名の一部とは「中省・日本の一名」とは、「中国・日本の一名」とは、「日本の一名」は、「日本の一名」は、「日本の一名」は、「日本の一名」は、「日本の一名」は、「日本 と医

の営利

社会の矛盾の補完物であり、その 大学の自主規制路線 その 国家の 情理支配によって成立つものであ¹の中まで侵遽している。

であったいとの関係が発生、主に、ないたる。要されたいのでは、
 であったいとのでは、
 であったいとの関係が発生、
 であったいとの関係が表生、
 であったいとのであったいとのであった。
 であったいとのであった。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい。
 であったい

この、国家が大学・学生を管理 いたのとして、自主報酬路表は、それに であるとして、自主報酬路表は、それに であるとして、自主報酬路表は、それに として「大学管理法 名」を出した。

顏

出から変れようとしている時、それから医療が技術管理社会に、出れから医療が技術管理社会に、それから医療が技術管理社会に、 の矛盾が研修問題として現われ、

活プルが良くなって行った。この四だがだんだくならついてアンサンでがあって行った。この四世が見ば曾の高低がめだっ ※ 季は大変に にあれた波乱の少ない一

第 無金数が多すぎ (無 数) があっ いた だっといけ当然 予備的に発生 人 の 哲理を象をとうそう (例が 出席問題であった。 だからわれわ 出席問題であった。 だからわれわ 日本が大衆化の書の大学では、大会側は って大学に建っていた。 大会側は して、 とからなれた。 大会側は して、 とからなれた。 大会側は して、 とからなれた。 大会場は して、 とからなれた。 とからなれた。 というなれた。 というなれた。 というなれた。 というない

動家を処分するといのことは国家

しくは万国博の大混乱、次から次 来たが、実際には違うようであり - 傾向を示すのである。 そして日 交的で勝気の性格の者がヒステリ ものに熱中し、他人に影響

・ 用しているか?」と問い詰められ ・ 用しているか?」と問い詰められ 公害は発別と同じ構造であり、

利 である細川博士できえあれ程。水 関づいても論じ、例えば、水優病に いたのか? チッソの付属病院長 といいて東大の青医連は何をやって 企業 いたのか? チッソの付属病院長 といいて東大の青医に対する医者の責任に ア | 住病の原因追及に力をつくしたの

が 一分に楽しまおてもらいたいもので が 一数最小限を写り聴きに来た者を十

|問題は、単なる自治運動に埋設し しない限り、かような此題な出席 ないであろう。 秋晴の駅伝大会

新聞社内ではもう「公告の次は何 新聞社内ではもう「公告の次は何 〈医学書院の新刊〉

今日の小児治療指針 ## 加藤英大・浦田 大・山下文第 ●B5 頁546 図68 写第3 単5,000 〒200

小児務康百科 ## #罗普邦·希思和區 ●AS 其528 图·表300 李與85 ¥5,000 生化学 改訂第2版

八木国夫・三浦機影・阿南功一・大野公吉 ●B5 頁332 間68 写真1 平3,600 平110

新眼科学 改訂第2 255 編集 須田航平・生井 第

●B5 貞300 図78 予算369 原色図8 ¥5,500 平255 米国の医学教育 大田東東情 大田東州・下村京府 ●A5 夏208 図6 平東26

でき一学友を処分しょうでいう策 動が進行している。 の ているのである。われわればとの 大同利害の子に処分策動が進行し 共同利害の子に処分策動が進行し

一部ではなく全体を見てゆかなけれ をこに見られる。国家の顔。の一 てゆくのかざいう問題として収組対する支配管理をいかにはねのけ 対する支配管理をいかにはねのけばならないと同時に、われわれに 五九回 定演を聞いて

日本列島の外側つまり県初および 的に人にへだてを置く分裂質が、

日 日 日 公会都一ルで行なわれたこの合注前の発性にあるれ、思っていた。 対学会する。 かっ 曲目は オーチできるなグ・ヴァルデイ 使 作曲のを養する。 定 曲目は アルティット・ファイル・アンダー・フンダー・ファイー

5 | 邦初海というプリアーが作曲ロス 本で、コ、ワルツ・ナグ・キャット、本 氏で、コ、ワルツ・ナグ・キャット、本 氏で、コ、ワルツ・シロック、ブルータン

質の外向性の者からであると NA.

は、氏は脚口・乗「娘かとしよわ」 は、「たちきずか、私に後者を描 は、「たちきずか、私に後者を描 に、中でもなみび、「ないって会議をひっ くったして、「しなりのおりあい がかま、地とが、今時である。 がかま、地とが、今時である。 がかま、地とが、今時である。

す 市民運動をやりきらなければ、さ 正に来動をやりきらなければ、さ 市民運動をやりきらなければ、さ っ にしょうか」と言われているのを 対 耳にしたことがある。これから世 で 間から、公害の二字が得えても東 の 京の大気汚染は練き、われねれを さ さになしばびであろっ。そのよ う。しかし氏は、「前途は暗い」 C 企業と徹底的に載っておかないと に 方。そのとき、地域エゴイズムで に 一気。そのとき、地域エゴイズムで しかし氏は、 「前途は暗い」

新聞、テレビから公害という学が

強となった。

公害は差別だ

もみうけられた。 氏は、とれからも、もっと公害 氏は、とれからも、もっと公害 でも、地域モゴイ・ズへを押り走める。 地域モゴイ・ズへを押り走める。 となく、『自治権を推算する』などの方向 も、公害の認識するにはかなり勉性しか示さず不満が残ったけれど される。 公害にたちむかう

あまり効果のない所に金をたくさ あまり効果のない所に金をたくさ しかし実際にこれはやられてな く、ベドロを出したあと、ベドロ対 策に何億円かけたといっている。 そして公害産業が成長してくる。

野県東部、埼玉、山梨などに分布海に及んでおり、同様に推薦、長 野質が、幾内、瀬戸内から九州東 更に、東北地帯全体に及んでいる 対馬海流が光っている地域に多く

いる。宮城氏はどのよう

私は公害学者では

ある。公害を抑えるには、 い方法は「発生額でおさえる」と 不可能である。というのは、

■最新刊

シンポジウ

厶

公害問題

そして宮城氏の講演の中に、人を永久に理解できないであろう。 たのは筆者だけだったろうか。

出る。これらを少なくするには、キ槽から品物を出して水洗する時

(内容見本送呈)

般医化学

東北大学教授 荒谷 真 平 東北大学教授 **荒 谷 真 平** 東北大学教授 **立 木** 野学・調学を学よ方々のために、一数生化学 を背景として、連邦化学・教理を化学を抱る した医化学の一般的、基礎的な領域が網羅さ

るユニークな教科書。 B5 337頁 ¥ 3,800

****問診のコツから診断まで

日本大学助教授 大 国 真 彦 著 小児の間診のコツや診断への考えの進め方を 実例をおげ、また症状別に項目を分け、不十 分な病歴と良い病歴を比較解説した書、 A 5 200頁 ¥ 1,700

113-91 東京都文京区海島4丁目1-11 南山堂 電話 811-7241(代) 报春東京6338 南山堂

は、 大学闘争の持っている本質的意味 技 を永久に理解できないであろう。 あ

ム、クロム、シアンなどが、メッス、クロム、シアンなどが、メッ 技術の導入のしようがないからで

、 は、公害の先進国日本では他から なよって成長してきた日本の工業 域 りえないし、又外国の技術導入に 域 りえないし、又外国の技術導入に なの考えを頭から否定する、とい とができるのではないかという我 とができるのではないかという我

接 限り大きな戦りを犯すことになる は かあろう。この限界を見様めない は う点に関るなら、それなりに意味 いは う点に関るなら、それなりに意味 かわ はない。問題の現象面の解析といわ 主客転倒と言わざるを得ない。 は極めて現象的な考え方であり、 は極めて現象的な考え方であり、 ーチ方法が全く熊力であるわけで しかしながらこのようなアプロ 公害を防止すれば、今の高度成長公害を防止すれば、今の高度成長といっている。だから はとまり、二%位になってしま

で、遅れて来た資本主義国として しゃにむに発展することが急務と された国家状況の中で、醸成され な大して行ったのが、ヒステリー であったのが、ヒステリー

闘われたのである。 として、更に全国学園騒争として 持っていたが故に東大全学のもの

1城音

弥

0

=投稿=

講演を聞

V 7

きわれる

学園祭に捨

たり、

とのような、情况に対するいわ

者に対し、軽や呼出し繋撃に連行

のである。たとえば臨床的には全

一体化を次の様に見る。国家が医われわればこのような国家との

りする戦争神経症が端的な例であ 場において立てなくなったり、歩

国民性の中核であり、とれから問

歴史的に見た場合、日本人全体の少々疑問がある。

宮城氏はまず、性格調査によっ

作しス所約初期の「文明開化」をへ りた。近代であり、それ以前にとれる見 から、と、レステリー傾向が振われたのは いなのによるものではない。む か

日本人の性格を地域的に分類

、日本の性格地図を作

110,000 医人の週刊医学雑誌 要なご

毎週土曜日発行定価 最も親切なる臨床医家の好伴侶 本 一 佐東必藤の有益配事会様 「開窓で様」「お茶水だより」「 「中論」「ミース」「週一話」 「学会日参配」「面報」「所をD 日 本 医 事 新 发送送 料 料料士

类型 日本医事新報社 東京都千代田区神田駿河台2 (電)東京(292)1551(大代表)振替東京251

報

純喫茶

の場として医科大学の存在期中がの場として医科大学の存在期中がの場として医科大学の存在期中がの場として医科大学の存在期中がの場として医科大学の存在期中がの場合という。

2 である医療とが現在社会において かって せずに、一般的モラル論で、その

出席制度は本来、教育の外延に はなく、むしろ我々の教育、学問 に関わる主体性を阻害するもので あるという論理を原はにし、一次

性はあるが、しかし我々は自己の存せとを知る。真の教育、学問の存在

在位置と医学と、その実践的環元

の自己批判をせればならないで

で国家権力との熾烈な政防に耐えき
は何かという根元的な問題を発し
繁彦味では、学問の教育の存在意義

間 ひと苦も古い我々の勝争であると れず敗北していったところの全共

でんわ 431-1611



台を与えられ、地形さえ変わる破壊をく

からの

国主義的併合の担い手となってい 国主義的併合の担い手となってい 国主義的併合の担い手となってい

的支配再編を顕微せいとしている

ごによって、第三次琉球処分=帝

今、沖縄人民に、日本人民の敗

沖縄一わが日本によって武力で併合さ

めに無視され、今や視界に占めるその姿の群島は、かつては視界の中に訪れぬた祖国から「見捨てられ」て来たこの南方

の巨大さゆえに、又もその真の存在を無

|陂防衛、シ||によっての今。われわれは、組織・対決しようと苦闘してきた。東在東岸の路路。| 対決・療体を通して形成すること||別にいたる構造に様が闘争として

けてきた階級的差別から民族的差しら、闘ってゆくであつう。

六七年十・八朋争以後の聞いは

いる。われわれはこの「国政委」だ。政党の頃が、「制度論」を奪

復

帰

次階層分解

沖縄物語

を確 中で闘われる沖縄現地の闘争は、 の全社会院再編を推進する

□屋新町橋の「平和悪寒篇」であ、「解於」された自らの教像祭町史、社反革命軍権処に確定する。下数終として推進しているのが、関し、日本資本主義は決策占領が、中継の条単占領は、その方向を反し、通報を、生態力主義的・変化 「条約でこの部時で美国に売りとは」 中国革命、朝鮮戦争を委獲に、 シ、ととに、「復帰験」総体の版(*

ものであるとかいう者は、

軍事要差として膨張した労働力 | 日本資本主義の再生頭構造のうち 東南アジア化 やきつくように注がれていのであ、立腹等が展開された。との抗日連 の油縄へ向けられる殴は、何より、概能に対する武力強圧を開始する。 まれる。労働力不足に悩む諸企業」は、軍隊を夷地に派遣し、中国帰に、軽加工中業地帯としてとりる一家として出発を開始していた日本

は、沖縄人に、日本への尊敬

明」は戦後的アジア支配の日米

ジア

の再編

き | その反革命体制の軍事

気になった。

一を機的島面に至りついたが故に、

だ | 総過程が、四半世紀を経て、遂に 地会社の合併・キと代の値下げる

代」的に決着つけらむ った。琉球王国内部は中国帰属派

と日本帰属派に分裂した。近代国

、 開始ではない。五十年に至るまで あ 始は、決して「本土復帰」運動の 加 れた。しかし、「分離支配」の開

として、ただひとつの「本土」決戦の舞れ、六〇余年の抑圧と迫害の年月の代償

は、政治し社会 過程(物質 的構に対して、その理念を打ち砕く力

治は「復帰」要求に「返産」政治 沖縄人 ほどの異和席を持つのもとのため の 我々の闘

- 帰不安」へ変りつつあるとき、は しており、それを斉び自己の運動はじめることにより、「復帰」の 国主義にとって検進国は、自己のはじめることにより、「復帰」の 国主義にとって検進国は、自己の が具体的な問題となり、従ってま が具体的な問題となり、従ってす | 的にとりくむほかなくなっているとして統合されてきた闘争の分辨 | 歴史的に新たた機種に、今や本核 「幻想」が物質的な親をのぞかせ |関復帰=癒 決実 施は、との | ジアを火の海と化しつつある。"ア 六九年秋~七〇年六月に至る日本 ・沖縄階級闘争の本士系列化による一名。 六九年秋~七〇年六月に至る日本 ・沖縄階級闘争の本士系列化による一名。

験化としてあらわれるという構造 | る。第一次琉球処分が日清関係に | 武装列島を奇酷な支配の列島へと | 義一〇〇年の時間の中にとの琉球 | 圧が、 一例として「世界性」を問題にした

再びこの群島を自らのうちに併合 と「合理性」の名において。 農民世界的危機の時代の中で、日本は「下の名の代わりに、「民主主義」

自由主義の防衛の名

治的自治権の刑奪(軍独裁

でしてきなどの琉球 まった。寄らば大樹の味といってアメにならない。日本園 「多くの知様人民にとってアメはならない。日本園 「多くの知様人民にとってアメ

|<「本土復帰」 猟動―その成立> | 本は巨大な国である。そうして当 小さな属群の住民にとっては、日

その血染めの歴史

地路等・賃金、生物産価格の 後の沖縄が再編されていく

立する。強力なデコスれである。 | 法」が提出され、六〇年五 それに伴う財政支出の急速な拡大

日に至る過程利米作の破壊を伴っ
インと立んで沖縄機関の主幹をな
、 一 今日、砂精・ビ生産と製糖がパ、
の今日、砂精・ビ生産と製糖がパ

米作の破壊・農業構造の転換 大幅な減退・破壊は、熱担



されて きた。現態の闘 寺は"桜"中で、本土の闘争者は、自己の歌かの飲治表現として展望。 立て」でもある。とうした関係のからの繋放の飲治表現として展望。 立て」でもある。とうした関係のからの歌がない。 極構造、及び抵地による生活破壊 神縄にどって「復帰」は、軍政 からといって、沖縄が栄一台の一体化、系列化を推進するとしある。 (最本) 原自第の委員長級 (和 琉球併合名約がする力を)・基理を にへ下の出る思いをすらわる」から拒絶して、群・の電皇主義的 にへ下の出る思いをすらわる」から拒絶して、群・の電皇主義的

たことだけでなく、欧党・労働日 フィョッを号・フィーへ都要するものであり、「既成左」とも、それは南国の部争者から、北にまつりあげてしまう、社によっては南国の部争者から、「の、ことをとしる」という。

帝国主義者自身の政治的質、政治(資金で酷使され、

既層の再度の分解が、第二次階層

われの立場を極めて受入れやすく ている。との過程は五八年に始ま

一のためであった。従って、アメリーとしてではなく、基指機能の維持

| 翻の瀬沼が、軍事基地の合理化・ る。として確認しておかねはなら ものは現在までの「沖縄経済」を 「再稿として進行する。その軍事時 という未来像 がかかけ られてい のが。第二に、施政構返還完在む 力の例からする沖縄四端は、軍事 からの脱却」「豊か な 沖縄戻」 起発」とは無関係になりつつある

可能な限り小さくし、軍事 化)ということなのであり、基地側部の非縄社会に対する依存 る依存度を低下させている(合理 のとして、「基準依存経済」ある。従って、「基準」と「沖縄(のブルジョア的収称との対決・沖縄の保守・革新に共通(ない構造に変ううとしているので「列化から国政参加・沖縄階盤・関化を3点90,11月・財会にして本土への数器・関化を3点90,11月・財会にして本土への数器・関化を3点90,11月・財会にして本土への数器・

政参加粉砕 へと登りつ めつつあ

化は、と。基地の方が沖縄労働力に対す「闘争を資徴した沖縄中部反戦を中・闘争がいるの「済から・彫却しつつあ るというこ いる。石油基拠粉砕、用臓会突入 る、過 調ー社会4Dで本土への放送の第一級と問われるのは最力調節の意と ペン議員会。を媒介に、自民→公 製はつきつけられている。日本で 七〇年代において実現す

基地の合理化

軍事要難であるにすぎな。 はあるが、その機能の縮少ではな。 済」が「基地依存」から殷却する力帝国主義にとっての沖 | 軍労働者の祭歴は「人員縮少」で | ことだ ろう。第一に、「沖 [編註] 対している。
 対してい

帰

これが祖国復帰・本土一体化の第 も全く同費のものとして進行する

のではなく、基地の方が、沖縄経一挙」という形で行なわれんとして一意味してい たのはとのと を阻止せよ

国政参加

土地間立、であり、 **農民** たものは、労働組合の結成

「農民は無償に等しい捨低

沖繩支配層

本に対する琉球労働者の闘いが縁 て「頓民地化反対 共同圏 争委員

たっ、 連の単心で、これは連貫を放
のうないと、ない、 は、 日本語 (4) が出 中に破壊された。 ない 連絡を持た。 ない 連絡を (4) をようと、 (4) を表し、 (4) こうした歴史・労働者の関争の 一ては、各々の関争の勝利のために

良敗権打団という過程を释るとと

今日の沖縄政治構造の解体

任」の遂行であり、そのうえに、 買い取り による 「本土 政府の資 している。つまり、政治としては 「理かな沖縄展」のユー

の問題であった。教育と警察が帝 され

法をはじめとする、

沖縄米軍基地はそれ自身が政治

経済から「脱却」 宝温 「沖縄経済」は、

政党•組合への系列化